

整理番号 2024P-160

補助事業名 2024年度就労支援機器の整備

補助事業者名 社会福祉法人 奈良県手をつなぐ育成会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

10年以上リサイクル品の回収・再資源化を続けており地域の方からたくさんの協力を得ており、この活動を長く続け地域とのつながりを維持することを目標としている。

利用者の活躍の場の確保と職員も作業しやすい環境を確保する。

また、リサイクル資源がどのように循環しているか等の周知活動を展開していきたい。

(2) 実施内容

ペットボトルプレス機の導入時の様子



ペットボトルプレス機



2 予想される事業実施効果

新しい機械になる事や実際に機械に触れ、操作方法を知る事で利用者の自信にもつながります。また、既存の機械も同時に運転できることで作業効率も上がり、利用者の工賃アップにもつながると考えています。

そして、地域の方へ『回収物がどのように活かされているのか??』を報告する機会を作る取り組みを行い、街のポイ捨て予防・リサイクルへの切り替えのきっかけを作りたいと考えています。

3 補助事業にかかる成果物

- ・ホームページへの掲載

☆2024年度 競輪補助事業 報告1☆

- ・法人内での広報として配布 100枚
- ・広報誌への掲載 300部 (後援会機関誌)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社会福祉法人 奈良県手をつなぐ育成会

住所：〒635-0154

奈良県高市郡高取町観覚寺 1382 番地

代表者：理事長 山岡 亨

担当部署：総務

担当者：中井 聡美

電話番号：0744-52-1001

F A X：0744-52-1002

E - m a i l：sf-tunagu@aurora.ocn.ne.jp

U R L：<http://tsunagunara.jp/>

(福)奈良県手をつなぐ育成会から

2024年度公益財団法人JKAの補助事業

令和6年度 財団法人JKA 競輪の補助事業として2件助成を頂きました。
①件目は入浴施設内で利用している入浴用のリフトです。
利用して10年目を迎えた頃、利用者も重度・高齢化による身体状況の変化により、入浴時に対応出来ないことが大きな課題でした。
また、各棟の浴室は大人用で入ること想定していたため、機械浴を導入することは不可能な構造等さまざまな課題を伴う中で、このリフトに出会いました。
リフトは、レールが天井に設置出来れば無制限に上げる事が出来るそうです。身体障害者施設でも普及率が上がっています。介助時だけでなく、歩けずいかにリフトに乗るにも使用出来るそうです。
リフトを利用する事で一般浴の方も、介助が必要なら入浴する事も可能になり、職員の手配の負担軽減にも活用されています。
しかし、設置後10年が経ち製品の老朽化等も課題となって来たため、今回助成の申請を行いました。利用者のニーズも変化の中で、少しでも早く対応していけることを考えていきたいと思っております。



②件目は、リサイクル作業に欠かせない『ペットボトルプレス機』です。
皆さんほどよくペットボトルが資源として使われているかご存じですか？
『両がペットボトル』になったり、名称も変わります。なかなか見る機会が少ないですね。

法人ではその第一段階を利用者の体験として
①分別・中身を捨てる ②カプセル・キャップはなし ③プレス”という工程に取り組み、写真のように大きな塊になります。1つ1つがかなりの重量。これを業者が引き取り加工され生まれ変わります。

こちらの機械も老朽化が課題。すでに20年近く経って来ていたので、いつ壊れるか不安でした。施設の間には業者の方も懐かしいですねえとおっしゃるほどの機械。それでも、壊れるまで使用出来ること、回収業者も増えているので2台併用で頑張ってもらおうと思います！

